

「CLUSTERPRO」と新Agentによるリソース監視で 安定した実行基盤を実現！

システムの安定稼動のため負荷状況を正確に把握したいとの声を
多数いただきました。

このニーズにお応えし、システムリソースの監視と Java VM リ
ソースの監視を製品ラインナップに追加しました。

プレスリリース 2011年9月13日 <http://www.nec.co.jp/press/ja/1109/1301.html>

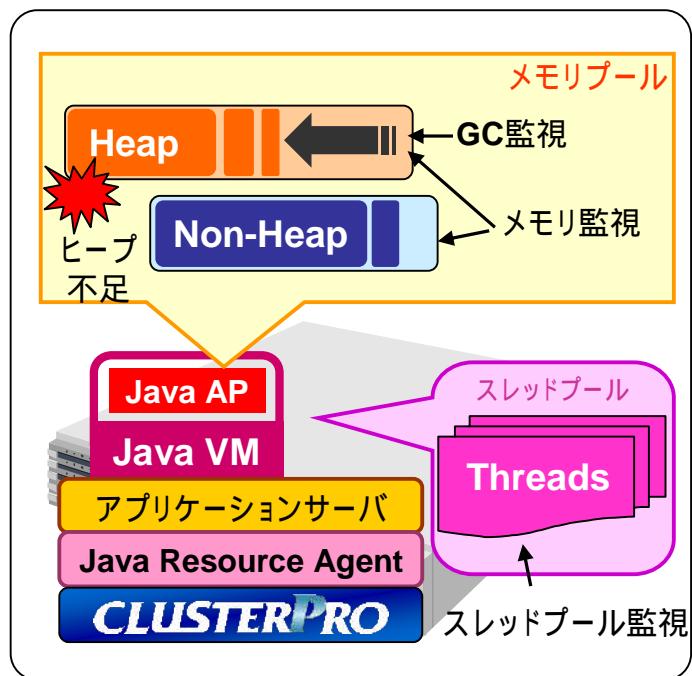
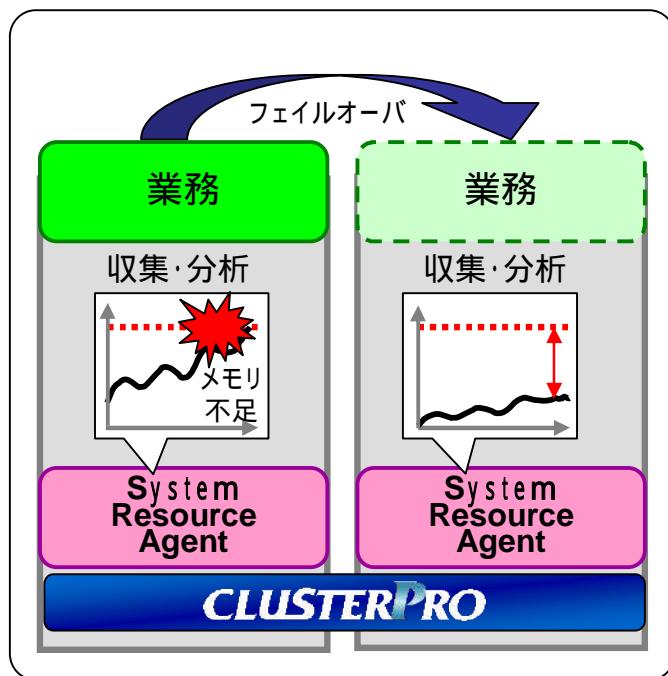
特長

System Resource Agent

- システムリソースの状況を監視
- システムに存在する全プロセスの
リソース使用状況を継続採取
- リソースの消費が増加傾向にある
プロセスを特定

Java Resource Agent

- Heap/Non-Heap 領域や
ガベージコレクション (GC) 、
デッドロックを監視
- Java VM のリソース使用状況を
継続採取



更に安定した実行環境を実現！

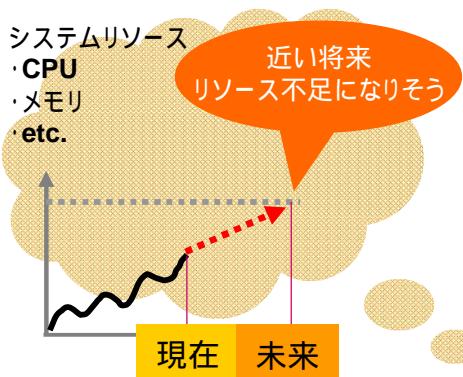
ソリューション

負荷状況を「予測」してフェイルオーバを実現。フェイルオーバせず通知のみも可

システム全体のリソースを監視
トラブルを事前に検出

プロセスごとのリソース¹を監視
異常を検出するとアラート

システムリソースの情報を蓄積
サイジングやレポートに活用



- 予兆検出は、リソース使用量の増分等を監視し、設定された条件を満たすと異常(業務停止の予兆)と判断します。

- 収集した情報はCSV形式で出力しますので、表計算ソフトなどで自由に加工いただけます。

1 CPU/メモリ/仮想メモリなど

Java VM のリソース状況により負荷分散対象からの自動切り離しを実現

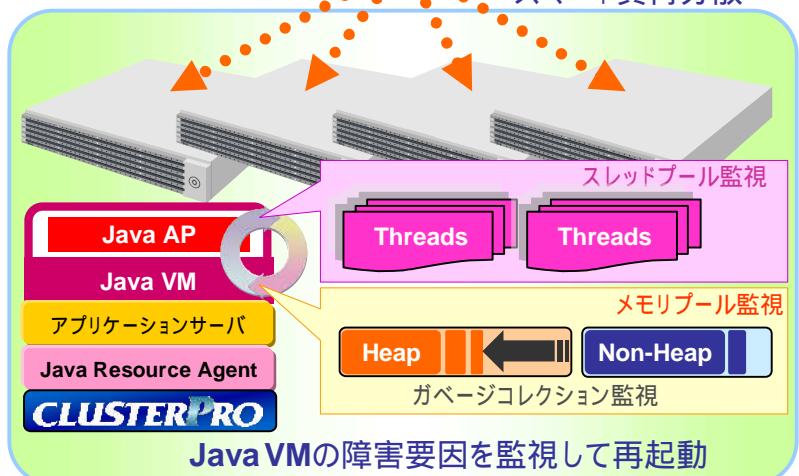
Java仮想マシンの障害監視

ロードバランサと連携



ロードバランサからの監視ではアプリケーションサーバの性能低下に気づけず、システム全体が徐々に性能低下する。

性能低下がみられるサーバのサービス回復をも自動化。完全ダウンする前に健全性を保ち、システム全体の業務のレスポンス低下を防止。



アプリケーションサーバ群全体で性能を維持する

型番 2	製品名	ライセンス	希望小売価格	概要 3
UL1276-60A (UL4276-60A)	CLUSTERPRO X Java Resource Agent 3.1	1ノード	150,000	Java VMリソース監視オプション
UL1276-60B (UL4276-60B)	CLUSTERPRO X System Resource Agent 3.1	1ノード	150,000	システムリソース監視オプション

2 () カッコで囲まれた型番はLinux用の型番です。

3 CLUSTERPRO X (クラスタ本体)、またはSingleServerSafeのオプションです。

お問い合わせ先

E-mail: info@clusterpro.jp.nec.com (プリセールスの製品窓口)

Web : <http://www.nec.co.jp/clusterpro/>